2019年業績紹介

（学会･論文･研究費一覧･学位取得者）

2019年業績紹介

業　績

2019年学会一覧

《学会発表（国内）》
2019.1.25　第90回大腸癌研究会（京都）
原田拓弥、本間重紀、吉田雅、川俣太、市川伸樹、柴崎晋、武冨紹信
pT1(SM)早期直腸癌の臨床病理学的特徴と治療成績
ポスターセッション

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、川俣太、柴崎晋、原田拓弥、武冨紹信
進行直腸癌に対する術前化学療法後の手術の安全性に関する検討
ポスターセッション

2019.3.8-9　第46回日本膵・膵島移植研究会（名古屋）
渡辺正明、腰塚靖之、後藤了一、川村典生、財津雅昭、山本真由美、柏浦愛美、太田稔、嶋村剛、武冨紹信
当院における膵島移植の情報提供からみた臨床応用拡大への課題
ワークショップ

2019.4.6-7　第18回日本旅行医学会大会（東京）
宮岡陽一、島田慎吾
日本南極地域観測隊野外観測活動時の傷病からみる南極旅行時の携行医薬品について
ポスターセッション

2019.4.18-20　第119回日本外科学会定期学術集会（大阪）
島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
小型単発肝細胞癌において系統的肝切除術を選択すべき術前因子の解析
パネルディスカッション

渡辺正明、腰塚靖之、渋谷一陽、蔵谷大輔、小倉正臣、吉田雅、旭火華、後藤了一、財津雅昭、川村典生、嶋村剛、山下健一郎、藤堂省、武冨紹信
膵島移植の成績改善に向けて　我々のこれまでの取り組みとこれからの展開
ワークショップ

川俣太、本間重紀、Ann-Marie P、沢田尭史、市川伸樹、吉田雅、柴崎晋、Nocola W、Vicki W、Barbara L、深井原、川村秀樹、神山俊哉、武冨紹信
ゲノム解析を利用した大腸癌原発巣およびその肝転移巣に対するprecision medicine
ワークショップ

深井原、柴田賢吾、島田慎吾、石川隆壽、若山顕治、藤好直、小林希、加藤紘一、早坂孝宏、三野和宏、川村典生、嶋村剛、武冨紹信
生存シグナル増強を目指した機械灌流による肝グラフトの薬剤性コンディショニング法の探索
サージカルフォーラム

脇坂和貴、神山俊哉、横尾英樹、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、三橋智子、武冨紹信
肝細胞癌におけるWnt5a発現の臨床病理学的意義の検討
サージカルフォーラム

杉山昂、横尾英樹、大畑多嘉宣、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、神山俊哉、武冨紹信
肝細胞癌の治癒切除例における炎症・栄養に関する宿主側予後因子の検討
サージカルフォーラム

沢田尭史、川俣太、市川伸樹、吉田雅、柴崎晋、本間重紀、武冨紹信
大腸癌肝転移に対するprecision medicineにおける免疫組織化学染色を併用したゲノム解析の有用性の検討
サージカルフォーラム

柴田賢吾、橋本咲月、早坂孝宏、深井原、加藤紘一、中薮拓哉、島田慎吾、小林希、梅本浩平、鈴木崇史、大谷晋太郎、三野和宏、嶋村剛、木村太一、武冨紹信
肝温虚血再灌流障害におけるリゾリン脂質の役割に関する基礎的研究　ーイメージング質量分析による解析
サージカルフォーラム Young Investigator's Award

江本慎、福長洋介、北川祐資、吉岡聡、平山和義、中西良太、永岡智之、本間理、松井信平、富永哲郎、南宏典、宮成淳、山口智弘、長嵜寿矢、秋吉高志、小西毅、藤本佳也、長山聡、上野雅資
腹腔鏡下結腸癌手術後の吻合法別短期成績の検討
サージカルフォーラム

金沢亮、後藤了一、巌築慶一、財津雅昭、川村典生、渡辺正明、嶋村剛、武冨紹信
当科における脳死肝移植前抗ドナー HLA抗体値の推移の検討
サージカルフォーラム

巌築慶一、後藤了一、金沢亮、深作慶友、川村典生、財津雅昭、渡辺正明、嶋村剛、武冨紹信
移植後早期グラフト浸潤細胞が拒絶、免疫寛容に及ぼす影響についての基礎的研究
サージカルフォーラム

原田拓弥、川村典生、財津雅昭、渡辺正明、後藤了一、嶋村剛、武冨紹信
小児生体肝移植後の肝動脈血栓症発症に及ぼす血管因子の検討
サージカルフォーラム

市川伸樹、本間重紀、船越徹、服部優宏、佐藤正法、上泉洋、大森一吉、野村克、横田良一、小池雅彦、今裕史、武田圭佐、石津寛之、廣瀬邦弘、蔵谷大輔、石川隆壽、村田竜平、吉田雅、川俣太、皆川のぞみ、武冨紹信
局所進行直腸癌に対する術前mFOLFOX6療法後の手術の安全性（R-NAC01試験）
サージカルフォーラム

木井修平、北村秀光、岡田尚樹、項慧慧、杉山昂、川俣太、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、柴崎晋、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武冨紹信
DSS誘発性大腸炎モデルにおけるSTAT1を介したシグナルカスケードの関与
サージカルフォーラム

志智俊介、稲垣光裕、佐野修平、西越崇博、山田健司、腰塚靖之、芝木泰一郎、柳田尚之、池上淳、赤羽弘充
当科における消化器外科手術後の局所陰圧閉鎖療法早期介入について
ポスターセッション

渋谷一陽、渡辺正明、巌築慶一、金沢亮、財津雅昭、川村典生、後藤了一、武冨紹信
球状肝細胞の肝細胞移植における有用性の検討
ポスターセッション

藤居勇貴、蒲池浩文
肝門部胆管癌術後に発症した膵頭部領域癌の手術経験
ポスターセッション

谷道夫、津田真寿美、鈴鹿淳、王磊、杉野弘和、谷川聖、石田雄介、グン剣萍、田中伸哉、武冨紹信
バイオマテリアルによる肝癌幹細胞の新規誘導法
ポスターセッション

市村健太郎、川村典生、財津雅昭、渡辺正明、後藤了一、嶋村剛、武冨紹信
HEV急性肝不全5例の検討
ポスターセッション

佐藤彩、後藤了一、財津雅昭、川村典生、渡辺正明、嶋村剛、武冨紹信
当院における小児生体肝移植後門脈合併症の検討
ポスターセッション

財津雅昭、川村典生、渡辺正明、後藤了一、嶋村剛、武冨紹信
リンパ球ー単球比を用いた肝移植後の急性拒絶反応と治療の評価
ポスターセッション

神山俊哉、折茂達也、若山顕治、島田慎吾、長津明久、横尾英樹、蒲池浩文、武冨紹信
肝3区域切除後胆道合併症の検討
ポスターセッション

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
大腸癌肝転移における術前化学療法の術後成績に与えるインパクト
ポスターセッション

坂本譲、由雄祥代、河合裕成、島垣智成、森泰三、松田道隆、大澤陽介、深井原、神山俊哉、考藤達哉、武冨紹信
NAFLD患者におけるNK細胞Siglec-7の意義
ポスターセッション

長津明久、神山俊哉、旭火華、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、武冨紹信
大腸癌肝転移症例における周術期成績が予後に与える影響の検討
ポスターセッション

吉田雅、本間重紀、市川伸樹、川俣太、柴崎晋、川村秀樹、武冨紹信
潰瘍性大腸炎に対する手術方針と術後成績
ポスターセッション

田仲大樹、本間重紀、市川伸樹、吉田雅、川俣太、柴崎晋、川村秀樹、武冨紹信
当院での腸閉塞に対し実施した高気圧酸素療法の治療成績の検討
ポスターセッション

折茂達也、神山俊哉、蒲池浩文、横尾英樹、島田慎吾、長津明久、大畑多嘉宣、武冨紹信
肝内胆管癌の術前画像分類による腫瘍局在の検討
ポスターセッション

和久井洋佑、市川伸樹、川俣太、吉田雅、柴崎晋、本間重紀、三橋智子、武冨紹信
所属リンパ節に乳癌と結腸癌の転移が混在した上行結腸癌の1切除例
研修医セッション

別所光(天使病院初期研修医)、川村典生、財津雅昭、渡辺正明、後藤了一、嶋村剛、武冨紹信
長期待機後に脳死肝移植を施行しえた原発性硬化性胆管炎の2症例
研修医セッション

高橋直規、折茂達也、長津明久、島田慎吾、大畑多嘉宣、横尾英樹、後藤了一、神山俊哉、武冨紹信
亜全胃温存膵頭十二指腸切除後に発症した腸管嚢腫様気腫症の1例
研修医セッション

南波宏征、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、林利彦、新井隆太、松野吉宏、武冨紹信
肝細胞癌術後に右下腿骨格筋転移を来たした1例
研修医セッション

2019.5.9-11　第105回日本消化器病学会総会（金沢）
吉田雅、本間重紀、市川伸樹、川俣太、柴崎晋、川村秀樹、武冨紹信
潰瘍性大腸炎に対する手術方針と術後成績
ポスターセッション

2019.5.15　札幌モーニングロータリークラブ（札幌）
武冨紹信
脂肪肝も侮れない！肝発がんのリスクと対策
招聘講演

2019.5.18　第6回北海道手術手技研究会（札幌）
市川伸樹、本間重紀、吉田雅、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、沢田尭史、武冨紹信
腹腔鏡下大腸切除における技術認定医介入の有用性
一般口演

2019.5.23-25　第56回日本小児外科学会学術集会（久留米）
本多昌平、荒桃子、河北一誠、奥村一慶、武冨紹信
肛門形成に難渋した多発結腸閉鎖合併鎖肛の1例
一般口演

2019.5.30-31　第55回日本肝臓学会総会（東京）
坂本譲、由雄祥代、考藤達哉
NAFLDにおける可溶性Siglec-7はマクロファージ関連バイオマーカーである
パネルディスカッション

2019.6.6　第61回旭川外科手術懇話会（旭川）
武冨紹信
進行肝癌に対する治療戦略
特別講演

2019.6.6-7　第33回日本外傷学会総会（弘前）
常俊雄介、臼井章浩、犬飼公一、山田元彦、天野浩司、向井信貴、中田康城、横田順一朗
腹部外傷・出血性ショックにおけるAbdomen first approach
パネルディスカッション

2019.6.8　第30回北海道肝がん研究会（札幌）
旭火華、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信

肝細胞癌に対する減量切除術の検討
一般口演

2019.6.13-15　第31回日本肝胆膵外科学会学術集会（高松）
Goto R, Ito M, Zaitsu M, Kawamura N, Watanabe M, Kamiayma T, Shimamura T, Taketomi A.
The role of preformed donor-specific antibodies in living donor liver transplantation
一般口演

Kawamura N, Goto R, Watanabe M, Zaitsu M, Kamiayma T, Shimamura T, Taketomi A.
A proposal of indication for splenectomy in Living Donor Liver Transplantation.
一般口演

Orimo T, Kamiyama T, Yokoo H, Shimada S, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
Usefulness of EOB- MRI for the prediction of posthepatectomy liver failure for patients undergoing hepatectomy for hepatocellular carcinoma.
ポスターセッション

Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
Long-term prognostic factors in ten-year survivors after resection of hepatocellular carcinoma.
ポスターセッション

Kamachi H, Orimo T, Nagatsu A, Shimada S, Yokoo H, Goto R, Kamiyama T, Taketomi A.
Perioperative management and surgical results of hepato-pancreatoduodenectomy.
ポスターセッション

Nagatsu A, Kamiyama T, Asahi Y, Shimada S, Orimo T, Kamachi H, Taketomi A.
Long-term outcomes after liver resection with neoadjuvant.
ポスターセッション

2019.6.16　第305回日本小児科学会北海道地方会（札幌）
荒桃子、本多昌平、近藤享史、奥村一慶、武冨紹信
血胸にて発症した肋骨骨軟骨腫の1例
一般口演

2019.6.29　第115回日本臨床外科学会北海道支部総会（旭川）
市川伸樹、本間重紀、船越徹、廣瀬邦弘、大島隆宏、山田健司、中本裕紀、数井啓藏、横田良一、本間友樹、前田好章、吉田雅、石川隆壽、今泉健、松井博紀、武冨紹信
腹腔鏡下大腸切除における技術認定医介入の有用性
学会賞選考講演

深澤拓夢、川村典生、市村健太郎、鈴木琢士、巖築慶一、財津雅昭、渡辺正明、藤好真人、長津明久、後藤了一、井口晶裕、五十嵐敬太、山本雅樹、神山俊哉、嶋村剛、武冨紹信
骨髄移植後の類洞閉塞症候群に対し生体肝移植を施行し救命しえた一例
一般口演

石塚千紘、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、福井秀章、三橋智子、武冨紹信
増大傾向を示した肝硬化性血管腫の一切除例
一般口演

浜田和也、神山俊哉、石塚千紘、長津明久、旭火華、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、武冨紹信
肝血管筋脂肪腫に対し腹腔鏡下肝切除術を施行した一例
一般口演

2019.7.4　第26回外科侵襲とサイトカイン研究会（神戸）
大平将史、横尾英樹、旭火華、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、神山俊哉、小川浩司、武冨紹信
肝細胞癌におけるcirculating FABP5の意義
ワークショップ

2019.7.4-5　第55回日本肝癌研究会（東京）
脇坂和貴、横尾英樹、神山俊哉、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、武冨紹信
新WHO分類に基づいた混合型肝癌の癌幹細胞マーカーについての検討
パネルディスカッション

嶋村剛
肝移植の位置づけ
パネルディスカッション

大平将史、横尾英樹、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、神山俊哉、小川浩司、武冨紹信
肝細胞癌における新規血清バイオマーカーとしての表皮型脂肪酸結合タンパク質(FABP5)の意義
ワークショップ

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
肝細胞癌切除後10年生存例における長期予後因子
一般口演

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
肝細胞癌切除後再発に対する分子標的薬の選択基準
一般口演

2019.7.5　第91回大腸癌研究会（東京）
市川伸樹、神山俊哉、横尾英樹、本間重紀、前田好章、濱田朋倫、篠原敏樹、敦賀陽介、数井啓藏、吉田雅、川俣太、柴崎晋、川村秀樹、蒲池浩文、折茂達也、島田慎吾、長津明久、大畑多嘉宜、武冨紹信
同時性肝転移における術前化学療法の意義
一般口演

吉田雅、本間重紀、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
大腸神経内分泌腫瘍の治療成績
ポスターセッション

2019.7.6　第3回腹腔鏡下大腸切除研究会学術集会（東京）
市川伸樹、本間重紀、吉田雅、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除における技術認定医介入の有用性に関する検討
一般口演

2019.7.9　第52回リバーサイド消化器懇話会（札幌）

本間重紀、松井博紀、宮岡陽一、今泉健、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
多様化する大腸癌治療
教育講演

2019.7.17-19　第74回日本消化器外科学会総会（東京）
常俊雄介、臼井章浩、犬飼公一、山田元彦、向井信貴、中田康城、横田順一朗
Complicated appendicitisに対するinterval appendectomy
要望演題

吉田雅、本間重紀、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
潰瘍性大腸炎に対する手術方針と術後成績
一般口演

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、廣瀬邦弘、山田健司、今裕史、船越徹、数井啓藏、横田良一、前田好章、石川隆壽、本間友樹、大島隆宏、川俣太、柴崎晋、武冨紹信
腹腔鏡下大腸切除における技術認定取得者介入の有用性に関する検討～医局制度を利用した多施設共同研究～
一般口演

本間重紀、松井博紀、宮岡陽一、今泉健、川俣太、市川伸樹、吉田雅、柴崎晋、川村秀樹、武冨紹信
潰瘍性大腸炎に対する3期分割手術
一般口演

島田慎吾、神山俊哉、横尾英樹、折茂達也、若山顕治、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
肝切除におけるCチューブ留置例の検討
ミニオーラル

横尾英樹、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
肝内胆管癌術後に対する低用量gemcitabineベース化学療法の予後改善効果の検討
ミニオーラル

長津明久、神山俊哉、旭火華、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、武冨紹信
当科におけるERASを参考にしたクリティカルパスの変更と将来像
ミニオーラル

蒲池浩文、折茂達也、長津明久、島田慎吾、横尾英樹、後藤了一、神山俊哉、武冨紹信
肝胆膵悪性腫瘍に対する異時性肝葉膵頭十二指腸切除症例の検討
ミニオーラル

太田拓児、加藤拓也、花本尊之、廣瀬邦弘、神山俊哉、松岡伸一
A Case of Diffuse Hepatic Hemangiomatosis Associated with Oral Contraceptive
ミニオーラル

沢田尭史、川俣太、市川伸樹、吉田雅、柴崎晋、本間重紀、武冨紹信
大腸癌肝転移における免疫組織化学染色を併用した遺伝子解析の検討
ミニオーラル

大平将史、横尾英樹、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、神山俊哉、武冨紹信
肝細胞癌における新規血清バイオマーカーとしての表皮型脂肪酸結合タンパク質(FABP5)の意義
ミニオーラル

後藤了一、財津雅昭、川村典生、渡辺正明、神山俊哉、嶋村剛、武冨紹信
生体肝移植におけるde novoドナー特異的HLA抗体高力価症例のグラフト線維化の危険因子
ミニオーラル

2019.7.20　第2回da Vinci勉強会（札幌）
本間重紀、松井博紀、宮岡陽一、今泉健、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
ロボット支援下直腸切除術 ～再導入時に注意したこと～
一般口演

2019.7.25-26　第37回日本肝移植学会（京都）
川村典生、嶋村剛、後藤了一、渡辺正明、巖築慶一、深澤拓夢、山本啓一朗、神山俊哉、武冨紹信
公共交通機関による臓器搬送システム下での、マージナルドナー要因の探索と肝移植成績
ワークショップ

2019.7.27-28　統合医療機能性食品国際学会（札幌）
旭火華、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
Vp4を伴う肝細胞癌に対して肝切除を含む集学的治療に加えてAHCC®を自主的に服用し、長期生存が得られた1例
ポスターセッション

2019.9.7　小児消化器病フォーラム（札幌）
荒桃子、本多昌平、近藤享史、奥村一慶、武冨紹信
術前診断が困難であった十二指腸重複症を伴う十二指腸狭窄症の一例
一般口演

2019.9.7-8　第125回日本消化器病学会北海道支部例会（札幌）
山本啓一朗、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、結城敏志、武冨紹信
集学的治療により長期生存を得たStageIV直腸癌の一例
一般口演

原田拓弥、本間重紀、吉田雅、川俣太、市川伸樹、柴崎晋、大塚拓也、三橋智子、武冨紹信
術前診断が困難であった劇症型Clostridium difficile腸炎による著明な結腸狭窄に対して結腸亜全摘術を施行した1例
一般口演

旭火華、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、坂本譲、蒲池浩文、武冨紹信
肝細胞癌に対する減量切除術の検討
一般口演

2019.9.12-13　第26回日本門脈圧亢進症学会総会（下関）
川村典生、嶋村剛、後藤了一、渡辺正明、巖築慶一、深澤拓夢、山本啓一朗、神山俊哉、武冨紹信
類洞閉塞症候群に対する生体肝移植の1例と、生体肝移植後類洞閉塞症候群を来し再移植を必要とした1例
ワークショップ

2019.9.21-22　第101回日本小児外科学会北海道地方会（札幌）

近藤享史、奥村一慶、荒桃子、本多昌平、武冨紹信
腹腔鏡下に摘出したカテコラミン産生性右副腎原発神経芽腫の一例
一般口演

深澤拓夢、本多昌平、荒桃子、近藤享史、奥村一慶、武冨紹信
十二指腸重複症に先天性十二指腸狭窄症を合併した一例
一般口演

浜田卓巳、本多昌平、荒桃子、近藤享史、奥村一慶、河北一誠、武冨紹信
胆嚢摘出を施行後、腹痛症状改善のない胆管非拡張型膵胆管合流異常症に対し、分流手術を施行した一例
一般口演

2019.9.21-22　第109回北海道外科学会（札幌）
旭火華、吉田祐一、奥村一慶、沢田堯史、梅本浩平、喜納政哉、高田譲二、益子博幸
血液透析患者の腹部緊急手術の検討
北海道外科雑誌記念受賞講演

坂本譲、蒲池浩文、折茂達也、旭火華、長津明久、島田慎吾、神山俊哉、武冨紹信
多数のリンパ節転移を伴った神経内分泌腫瘍の2切除例
一般口演

2019.9.21-22　第116回日本臨床外科学会北海道支部総会（札幌）
浜田和也、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
腺癌と神経内分泌腫瘍を併存した直腸腫瘍の一例
一般口演

山本啓一朗、後藤了一、深澤拓夢、巖築慶一、川村典生、渡辺正明、堀田記世彦、岩見大基、篠原信雄、嶋村剛、武冨紹信
原発性胆汁性胆管炎の非代償性肝硬変、腎不全に対し脳死下肝腎同時移植を実施した一例
一般口演

旭火華、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、坂本譲、蒲池浩文、武冨紹信
肝細胞癌に対する減量切除術の検討
一般口演

石塚千紘、神山俊哉、浜田和也、吉田祐一、旭火華、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、武冨紹信
若年男性に発生した巨大肝腫瘍の一例
一般口演

鈴木大喜(医学部6年生)、後藤了一、巖築慶一、川村典生、渡辺正明、山本啓一朗、深澤拓夢、坂本聡大、藤居勇貴、太田稔、岡本花織、千葉裕基、堀田記世彦、岩見大基、篠原信雄、嶋村剛、武冨紹信
肝腎症候群による腎不全を伴った原発性胆汁性胆管炎、非代償性肝硬変例に対し脳死肝移植を実施した3例の検討
学生セッション

2019.9.26-28　第78回日本癌学会（京都）
本多昌平、藤好直、荒桃子、奥村一慶、近藤享史、武冨紹信
Dysregulation of small non-coding RNAs at the DLK1-DIO3 imprinted locus in primary and metastatic hepatoblastoma tumors
一般口演

藤好直、本多昌平、荒桃子、奥村一慶、近藤享史、武冨紹信
Dynamic changes of genes expression under CDDP stress in CDDP-resistant hepatoblastoma cells
一般口演

2019.9.26-28　第78回日本癌学会学術総会（京都）
Ko Sugiyama, Shunsuke Shichi, Naoki Okada, Hidemitsu Kitamura and Akinobu Taketomi.
Inhibition of diacylglycerol kinase alpha augments efficacy of anticancer drugs against cancer cells ジアシルグリセロールキナーゼαの阻害はがん細胞に対する抗がん剤の効果を亢進する
ポスターセッション

2019.9.28　第2回北海道移植免疫研究会（札幌）
巖築慶一
マウス心移植における移植後早期浸潤リンパ球の抗原特異性
一般口演

渋谷一陽、渡辺正明、巖築慶一、金沢亮、財津雅昭、後藤了一、武冨紹信
球状肝細胞の肝細胞移植における有用性の検討
一般口演

2019.9.28　第25回北海道肝移植適応研究会（札幌）
後藤了一
北大病院の肝移植22年間を振り返って
一般口演

2019.10.2-4　第47回日本救急医学会総会（東京）
常俊雄介、臼井章浩、犬飼公一、山田元彦、茅田洋之、天野浩司、向井信貴、坂平英樹、中田康城、横田順一朗
Acute Care Surgery teamによる"Surgical Rescue"
パネルディスカッション

2019.10.8　なかのしま健康フェア健康講話（札幌）
本間重紀、松井博紀、宮岡陽一、今泉健、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
知ってほしい大腸癌のこと
講演

2019.10.10-12　第55回日本移植学会総会（広島）
後藤了一、巖築慶一、川村典生、渡辺正明、神山俊哉、嶋村剛、武冨紹信
当院における原発性胆汁性胆管炎に対する生体・脳死肝移植症例の特徴
一般口演

巖築慶一、後藤了一、太田拓児、金沢亮、川村典生、財津雅昭、渡辺正明、嶋村剛、武冨紹信
移植後早期グラフト浸潤リンパ球の抗原特異性に関する基礎的検討
一般口演

2019.10.11-12　第74回大腸肛門病学会総会（東京）
沢田堯史、松井博紀、宮岡陽一、今泉健、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武冨紹信
大腸癌肝転移に対する免疫組織化学染色を併用した遺伝子コピー数解析の有用性
ワークショップ

2019.10.11-12　第74回日本大腸肛門病学会学術集会（東京）

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、船越徹、今裕史、武田圭佐、横田良一、服部優宏、野村克、松井博紀、今泉健、宮岡陽一、武冨紹信
術前化学療法施行例における直腸癌術後排尿排便機能に対するQOLの検討
一般口演

今泉健、西澤祐吏、池田公治、塚田祐一郎、佐々木剛志、伊藤雅昭
大腸がん異時性腹膜転移に対する外科治療の有用性
一般口演

吉田雅、本間重紀、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
大腸神経内分泌腫瘍の治療成績
ポスターセッション

木井修平、北村秀光、岡田尚樹、杉山昂、大野陽介、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、川村秀樹、高橋典彦、武冨紹信
DSS誘発大腸炎モデルの病態発症におけるSTAT1シグナルカスケードの関与
ポスターセッション

2019.10.12　第54回日本小児外科学会関東甲信越地方会（大宮）
河北一誠、望月響子、篠原彰太、都築行広、藤井俊輔、臼井秀仁、北河徳彦、新開真人
管状型全結腸重複症に対しENSEAL™を用いて全長にわたる隔壁切開を施行しえた一例
一般口演

2019.10.26　第7回道東外科集談会（釧路）
本間重紀、松井博紀、宮岡陽一、今泉健、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
大腸癌外科治療　～今までの取り組みとこれからの挑戦～
講演

2019.11.2　第40回日本大腸肛門病学会北海道支部例会（札幌）
今泉健、本間重紀、西田睦、松井博紀、宮岡陽一、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
結腸癌リンパ節転移の術前診断における経腹壁超音波検査の有用性
一般口演

山本啓一朗、本間重紀、吉田雅、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、結城敏志、武冨紹信
集学的治療により長期生存を得たStageⅣ直腸癌の一例
一般口演

2019.11.8-9　第46回日本臓器保存生物医学会学術集会（福島）
深井原、柴田賢吾、坂本聡大、島田慎吾、小林希、石川隆壽、若山顕治、藤好真人、川村典生、嶋村剛、武冨紹信
虚血再灌流傷害に対する水素ガスの作用点の探索
スポンサードシンポジウム

2019.11.9　第30回日本小児外科QOL研究会（伊勢）
河北一誠、北河徳彦、篠原彰太、都築行広、藤井俊輔、臼井秀仁、望月響子、新開真人
転移性肺腫瘍に対し複数回の肺切除を施行した症例の術後QOLの検討
一般口演

2019.11.14-16　第81回日本臨床外科学会総会（高知）
常俊雄介、臼井章、犬飼公一、山田元彦、茅田洋之、天野浩司、向井信貴、坂平英樹、中田康城、横田順一朗
開胸・開腹手術のメリットーAcute Care Surgeryの領域からー
シンポジウム

市川伸樹、本間重紀、船越徹、廣瀬邦弘、大島隆宏、山田健司、中本裕紀、数井啓藏、横田良一、本間友樹、前田好章、吉田雅、石川隆壽、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
腹腔鏡下大腸切除における合併症と難易度に影響を与える因子の検討
シンポジウム

嶋村剛
肝細胞癌に対する肝移植適応基準（5-5-500基準）：全国集計から
パネルディスカッション

島田慎吾、神山俊哉、折茂達也、長津明久、旭火華、坂本譲、蒲池浩文、武冨紹信
肝細胞癌切除症例における術前HbA1cと予後および術後合併症
パネルディスカッション

吉田雅、本間重紀、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
腹腔鏡下低位前方切除術における一時的回腸ストマ造設の工夫
要望演題

江本慎、福長洋介、富永哲郎、平山和義、中西良太、永岡智之、田島ジェシー雄、松井信平、村橋賢、向井俊貴、山口智弘、長嵜寿矢、秋吉高志、小西毅、長山聡、上野雅資
大腸癌術後の異時性傍大動脈リンパ節転移切除症例の検討
一般口演

浜田和也、神山俊哉、旭火華、折茂達也、島田慎吾、長津明久、吉田祐一、石塚千紘、蒲池浩文、武冨紹信
肝エキノコックス症と鑑別が困難であった肝硬化性血管腫の一例
ポスターセッション

石塚千紘、神山俊哉、浜田和也、吉田祐一、坂本譲、旭火華、長津明久、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、杉野弘和、三橋智子、桑田靖昭、武冨紹信
若年男性に発生した巨大肝腫瘍の一例
ポスターセッション

今泉健、本間重紀、西田睦、松井博紀、宮岡陽一、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
結腸癌リンパ節転移の術前診断における経腹壁超音波検査の有用性
ポスターセッション

2019.11.21-24　第27回日本消化器関連学会週間（神戸）
坂本譲、由雄祥代、河合裕成、島垣智成、森泰三、松田道隆、土肥弘義、青木孝彦、吉田祐士、新井泰央、糸川典夫、大澤陽介、考藤達哉、武冨紹信
マスサイトメトリーを用いたNAFLD患者における免疫病態の網羅的解析
一般口演（若手奨励賞）

折茂達也、神山俊哉、横尾英樹、島田慎吾、長津明久、蒲池浩文、武冨紹信
EOB-MRIを用いた分肝機能評価の検討
デジタルポスター

2019.11.30　第3回北海道膵臓・胆道研究会（札幌）
山本啓一朗、蒲池浩文、折茂達也、坂本譲、長津明久、島田慎吾、神山俊哉、武冨紹信
大量肝切除後の胆道系腫瘍再発症例の二次治療としてのS-1の使用経験
一般口演

2019.12.4　第13回肝臓内視鏡外科研究会（横浜）
旭火華、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、坂本譲、蒲池浩文、武冨紹信
腹腔鏡下大肝切除における肝門部処理・肝実質切離の基本的手技の確立
一般口演

2019.12.5-7　第32回日本内視鏡外科学会総会（横浜）
吉田雅、本間重紀、市川伸樹、今泉健、宮岡陽一、松井博紀、武冨紹信
潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡下手術成績
ワークショップ

今泉健、本間重紀、松井博紀、宮岡陽一、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
当院におけるcT4b結腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績
サージカルフォーラム

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、今泉健、宮岡陽一、松井裕紀、武冨紹信
腹腔鏡下右半結腸切除D3郭清の定型化
サージカルフォーラム

松井博紀、本間重紀、宮岡陽一、今泉健、市川伸樹、吉田雅、高橋典彦、武冨紹信
大腸憩室症に対する腹腔鏡手術の検討
サージカルフォーラム

宮岡陽一、本間重紀、松井博紀、今泉健、市川伸樹、吉田雅、武冨紹信
当科における腹腔鏡下直腸切除術吻合時のV-Locを用いた補強の取り組み
ミニオーラル

江本慎、福長洋介、平山和義、中西良太、永岡智之、田島ジェシー雄、松井信平、村橋賢、向井俊貴、山口智弘、長嵜寿矢、秋吉高志、小西毅、長山聡、上野雅資
横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術における吻合法別短期および長期成績の検討
ミニオーラル

旭火華、神山俊哉、折茂達也、島田慎吾、長津明久、坂本譲、蒲池浩文、武冨紹信
腹腔鏡下肝切除により切除した肝血管筋脂肪腫の3例
ミニオーラル

長津明久、神山俊哉、坂本譲、旭火華、島田慎吾、折茂達也、蒲池浩文、武冨紹信
当科における肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除の長期成績
ミニオーラル

《学会発表（国際）》
2019.1.17-19　ASCO GI 2019（San Francisco）
Yokoo H, Kamiyama T, Sugiyama K, Orimo T, Shimada S, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
The effect of lymphocyte-to-monocyte ratio on efficacy of sorafenib for recurrent hepatocellular carcinoma after curative resection.
Poster Session

Fujiyoshi S, Honda S, Minato M, Ara M, Suzuki H, Hiyama E, Taketomi A.
Investigation of aberrant DNA methylation in association with cisplatin-resistant hepatoblastoma.
Poster Session

2019.2.5-7　14th Annual Academic Surgical Congress（Houston, TX）
Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Kawamata F, Mitsuhashi T, Iijima H, Shibasaki S, Kawamura H, Ogasawara K, Kazui K, Kamiizumi Y, Taketomi A.
Impact of Primary Tumor Resection in Colorectal Cancer with Unresectable Metastasis.
Oral presentation

2019.2.8-12　11th AACR-JCA Joint Conference（Maui, Hawaii, USA）
Sawada A, Kawamata F, Ann-Marie Patch, Katia Nones, Ichikawa N, Yoshida T, Shibasaki S, Homma S, Kawamura H, Barbara Leggett, Nicola Waddell, Vicki Whitehall, Taketomi A.
Combined copy number variation analyses and immunohistochemical protein expression reveal precision medicine for colorectal cancer liver metastases.
Poster Session

Wakizaka K, Kamiyama T, Wakayama K, Orimo T, Yokoo H, Shimada S, Nagatsu A, Ohata T, Kamachi H, Taketomi A.
Wnt5a expression correlates with clinicopathologic features and prognosis of hepatocellular carcinoma patients.
Poster Session

2019.2.28-3.2　The 35th Congress of the Pan-Pacific Surgical Association Japan Chapter（Honolulu）
Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
Prognoses and clinicopathological characteristics of resected hepatocellular carcinoma with high impaired glucose tolerance.
Symposium

Zaisu M, Kawamura N, Watanabe M, Goto R, Shimamura T, Taketomi A.
CD28 costimulation of T cells in Transplantation.
Symposium

Ara M, Honda S, Kawakita I, Taketomi A.
A Consideration of Recurrence of Pediatric Inguinal Hernia after Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure (LPEC):.
Oral presentation

2019.3.10-14 The 52nd Annual Meeting of the Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS) (Christcurch, NZ)
Honda S, Ara M, Kawakita I, Okada T, Taketomi A.
A rare case of internal inguinal hernia recurrence after laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure.
Poster Session

2019.4.18-20 APASL Single Topic Conference 2019 (Tokyo)
Sakamoto Y, Yoshio S, Kawai H, Shimagaki T, Mori T, Matsuda M, Doi H, Aoki Y, Yoshida Y, Arai T, Itokawa N, Osawa Y, Taketomi A, Kanto T.
Soluble Siglec-7 as a macrophage activation marker in patients with non-alcoholic fatty liver disease.
Oral Session

2019.4.25-27 KSELS 2019 44th Congress of KSELS and 9th International Symposium (Seoul, Korea)
Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Kawamata F, Shibasaki S, Taketomi A.
Difficulty of laparoscopic rectal resection in narrow pelvis.
Poster presentation(Best poster presentation award)

Imaizumi K, Sasaki T, Tsukada Y, Ikeda K, Nishizawa Y, Ito M.
Transanal total mesorectal excision of rectal cancer in patients with a previous total prostatectomy.
Poster presentation

Namba H, Honma S, Ichikawa N, Shibasaki S, Kawamata F, Yoshida T, Taketomi A.
The dual approach with laparoscopy and thracoscopy for a huge adult Bochdalek hernia repair.
Poster presentation

Ichimura K, Homma S, Ichikawa N, Yoshida T, Kawamata F, Shibasaki S, Kawamura H, Taketomi A.
Short-term outcomes of the intracorporeal anastomosis in laparoscopic distal gastrectomy for gastric cancer.
Poster presentation

Suzuki T, Homma S, Ichikawa N, Sato A, Kawamata F, Yoshida T, Shibasaki S, Taketomi A.
Laparoscopic excisional biopsy of para-aortic lymph node is a minimal invasive and useful method.
Poster presentation

2019.5.9-11 The 2nd World Congress of the International Laparoscopic Liver Society (ILLS 2019) (Tokyo)
Nagatsu A, Kamiyama T, Asahi Y, Shimada S, Orimo T, Kamachi H, Taketomi A.
Laparoscopic hepatectomy for patients with alveolar echinococcosis: a single-center experience.
Oral Session

Sakamoto Y, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Shimada S, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
Establishment of our methods of pure laparoscopic partial hepatectomy of S7 and S8.
Oral Session

2019.5.15-18 25th International Liver Transplantation Society annual international congress (Tronto)
Kawamura N, Goto R, Watanabe M, Zaitsu M, Nagatsu A, Orimo T, Kamiyama T, Shimamura T, Taketomi A.
A proposal of indication for splenectomy in Living Donor Liver Transplantation.
Oral Session

Harada T, Kawamura N, Zaitsu M, Watanabe M, Goto R, Shimamura T, Taketomi A.
The risk of arterial complication in pediatric living donor liver transplantation: Importance of the arterial blood flow intensity .
Poster Session

Ichimura K, Kawamura N, Zaitsu M, Watanabe M, Goto R, Shimamura T, Taketomi A.
Liver transplantation for Genotype 4 HEV related acute-on-chronic liver failure.
Poster Session

2019.5.18-21 Digestive Disease Week 2019 (San Diego)
Kakisaka T, Fukai M, Banwait, J, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Baba H, Taketomi A, Goel A.
A novel gene expression signature for prediction earlier recurrence in early-stage hepatocellular carcinoma patients undergoing surgical resection.
Research Forum

Orimo T, Kamiyama T, Kamachi H, Yokoo H, Shimada S, Nagatsu A, Taketomi A.
Impact of tumor localization on the outcomes of surgery for an intrahepatic cholangiocarcinoma.
Poster Session

2019.6.1-5 American Transprant Congress (ATC) 2019 (Boston)
Ganchiku Y, Goto R, Igarashi R, Kanazawa R, Shibuya K, Fukasaku Y, Kawamura N, Zaistu M, Watanabe M, Taketomi A.
Potential Alloreactivity of Early Phase Graft Infiltrating Lymphocytes in Murine Cardiac Transplantation Model.
Poster Session

Shibuya K, Watanabe M, Ganchiku Y, Kanazawa R, Zaitsu M, Goto R, Taketomi A.
The efficacy of the spheroidal hepatocyte for hepatocyte transplantation.
Poster Session

2019.7.11-13 The 38th Sapporo International Cancer Symposium (Sapporo)
Imaizumi K, Suzuki T, Shimomura M, Sakuyama N, Tsukada Y, Sasaki T, Nishizawa Y, Kojima M, Taketomi A, Ito M, Nakatsura T.
Alteration of the immunosuppressive population after neoadjuvant therapies for locally advanced rectal cancer.
Poster presentation

Wakizaka K, Kamiyama T, Wakayama K, Orimo T,

Shimada S, Nagatsu A, Kamachi H, Yokoo H, Mitsuhashi T, Taketomi A.
The expression of Wnt5a on tumor cell membrane is associated with favorable pathological features and prognosis in hepatocellular carcinoma.
Poster Session

2019.8.29-31 The 10th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting (Sapporo)
Taketomi A.
Current surgical treatments for hepatocellular carcinoma in Japan.
State-of the-Art Lecture

Sakamoto Y, Yoshio S, Nagatsu A, Asahi Y, Shimada S, Orimo T, Kamachi H, Kamiyama T, Kanto T, Taketomi A.
Increased frequency of PD-1+CD57+Siglec-7-dysfunctional NK cells in patients with non-alcoholic fatty liver disease.
Oral Session

Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Sakamoto Y, Asahi Y, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
Prognoses and clinicopathological characteristics of resected NonBNonC hepatocellular carcinoma with high HbA1c.
Oral Session

Watanabe M, Koshizuka Y, Kawamura N, Goto R, Kamiyama T, Kamachi H, Shimamura T, Taketomi A.
A case of simultaneous pancreatoduodenectomy and living liver transplantation for biliary cancer complicated with congenital biliary dilatation.
Oral Session

Kawamura N, Goto R, Watanabe M, Ganchiku Y, Kamiyama T, Shimamura T, Taketomi A.
Salvage liver transplantation for advanced hepatocellular carcinoma:a single center experience.
Oral Session

Asahi Y, Kamiyama T, Orimo T, Shimada S, Nagatsu A, Kamachi H, Taketomi A.
Result of volume reduction hepatectectomy for unresectable hepatocellular carcinoma.
Oral Session

Goto R, Kawamura N, Watanabe M, Kamiyama T, Shimamura T, Taketomi A.
A successful treatment case with long-term survival for hepatocellularcarcinoma recurrence post-living donor liver transplantation by newlymolecular-target therapies.
Oral Session

Orimo T, Kamiyama T, Kamachi H, Shimada S, Nagatsu A, Asahi Y, Taketomi A.
Salvage hepatectomy for recurrent hepatocellular carcinoma after radiofrequency ablation and/or transcatheter arterial chemoembolization: A propensity score-matched analysis.
Poster Session

Nagatsu A, Kamiyama T, Asahi Y, Shimada S, Orimo T, Kamachi H, Taketomi A.
Long-term survival of laparoscopic hepatectomy.
Poster Session

Ara M, Honda S, Kondo A, Okumura K, Okada H, Takakuwa M, Taketomi A.
A Case of Transitional Liver Cell Tumor in a 10-Year-Old Boy.
Poster Session

2019.9.4-7 The 7th Biennial Congress of the Asian-Pacific Hepato-Pancreato-Billiary Association (Seoul)
Watanabe M, Goto R, Yamashita K, Todo S, Shimamura T, Taketomi A.
Operational tolerance with a donor antigen specific immunomodulatory cell therapy in living donor liver transplantation.
invited speaker

2019.9.5-6 4th international workshop on clinical transplant tolerance (Pittsburgh)
Goto R.
Anti-donor Treg therapy - an update.
invited speaker

2019.9.15-18 19th Congress of the Europiean Soiety for Organ Transplantation (ESOT) (Copenhagen)
Ganchiku Y, Goto R, Igarashi R, Kanazawa R, Shibuya K, Fukasaku Y, Kawamura N, Zaitsu M, Watanabe M, Fukai M, Taketomi A.
The Functional Alloreactivity in Vivo of Graft Infiltrating Lymphocytes in Early Phase Post-transplantation in mice.
Focus Group

Shibata K, Hayasaka T, Fukai M, Ishikawa T, Umemoto K, Sakamoto S, Kato K, Shimada S, Kobayashi N, Shimamura T, Kimura T, Taketomi A.
Elucidation of the Mechanisms of Hepatic Warm Ischemia and Reperfusion Injury(IRI) in Rats−Exhaustive analysis of novel biomarkers associated with the severity of IRI by imaging mass spectrometry−.
Poster Session

2019.9.29-10.2 16th Congress of The Asian Society of Transplantation (CAST) 2019 (Delhi)
Shibata K, Hayasaka T, Fukai M, Ishikawa T, Umemoto K, Sakamoto S, Kato K, Shimada S, Kobayashi N, Shimamura T, Kimura T, Taketomi A.
Elucidation of the Mechanisms of Hepatic Warm Ischemia and Reperfusion Injury(IRI) in Rats−Exhaustive analysis of novel biomarkers associated with the severity of IRI by imaging mass spectrometry−.
Oral Session

2019.11.8-12 AASLD The LIVER MEETING 2019 (Boston)
Sakamoto Y, Yoshio S, Kawai H, Mori T, Aoki Y, Yoshida Y, Arai T, Itokawa N, Osawa Y, Taketomi A, Kanto T.
Siglec-7 as an indicator of dysregulated NK cells and macrophage inflammation in patients with non-alcoholic fatty liver disease.

Poster Session

2019.12.1-5　The 13th Europen Coloretcal Congress（St. Gallen (Switzerland)）
Imaizumi K, Homma S, Nishida M, Matsui H, Miyaoka Y, Ichikawa N, Yoshida T, Taketomi A.
PREOPERATIVE DIAGNOSIS OF REGIONAL LYMPH NODE METASTASIS OF COLON CANCER BY CONTRAST-ENHANCED ULTRASONOGRAPHY.
Poster presentation

2019年論文一覧

《論文発表（和文）》

〈著書〉
川村典生、嶋村剛.
新　手術記録の書き方　肝臓の手術　脳死肝移植レシピエント手術.
消化器外科. 2019.04; 42(5): 779-784.

市川伸樹、本間重紀、吉田雅、武冨紹信.
結腸・直腸・肛門の手術／大腸癌：鏡視下手術　腹腔鏡下結腸右半切除術.
消化器外科. 2019.04; 42(5): 633-637.

長津明久、武冨紹信.
手術アトラス 小網とArantius管を意識した肝左葉グラフト採取術.
消化器外科. 2019.10; 42(11): 1501-1512.

嶋村剛
肝癌の治療　肝移植　肝細胞癌の肝移植適応.
肝癌診療マニュアル. 2019; 第4版

〈原著〉
近藤享史、望月響子、藤井俊輔、大澤絵都子、浅野史雄、臼井秀仁、北河徳彦、新開真人.
超低出生体重児の消化管穿孔及び腸閉塞における中期的精神・身体発育.
小児外科. 2019.01; 51(1): 47-50.

本多昌平、菱木知郎、横井暁子、風間理郎、高間勇一、星野健、田口智章、檜山英三.
小児肝腫瘍に対するPHIT Trial－外科療法ガイドライン－.
日本小児血液・がん学会雑誌. 2019.09; 56(2): 107-112.

江本慎、佐野修平、坂本沙織、石川倫啓、河合朋昭、小林清二、小笠原和宏.
鼠径部ヘルニア嵌頓に対する腹腔鏡手術の治療経験.
北海道外科雑誌. 2019.12; 64(2): 29-32.

〈総説〉
神山俊哉
多包性肝エキノコックス症の臨床.
IASR. 2019.03; 40: 35-36.

嶋村剛
肝細胞癌に対する肝移植の適応基準再考.
外科. 2019.05; 81(6): 601-608.

島田慎吾、神山俊哉、折茂達也、長津明久、旭火華、若山顕治、敦賀陽介、横尾英樹、蒲池浩文、武冨紹信.
新しい肝予備能評価とPVEによる肝切除治療戦略.
北海道外科雑誌. 2019.06; 64(1): 2-7.

〈解説・特集〉
柴崎晋、川村秀樹、市川伸樹、吉田雅、本間重紀、武冨紹信.
【腹腔鏡下胃切除後体腔内再建のKnack & Pitfalls】腹腔鏡下胃全摘術　Overlap法による再建.
手術. 2019.01; 73(1): 33-38.

脇坂和貴、武冨紹信.

【内科医に求められる他科の知識-専門家が伝えるDo/Don't】
(第1章)外科　C.消化器外科　肝細胞がん.
内科．2019.09; 124(3): 1752-1755.

〈症例報告〉
小柳要、坂本聡大、今裕史、武田圭佐、小池雅彦、斎藤正人.
幽門側胃切除術後の脾動脈瘤破裂に対し,コイル塞栓術を施行した1例.
手術．2019.02; 73(2): 237-242.

坂本聡大、高橋秀徳、佐々木彩実、野村克、杉野弘和、大森一吉.
転移リンパ節の破裂による腹腔内出血で発症した進行胃癌の1例.
日本臨床外科学会雑誌．2019.02; 80(2): 315-319.

河北一誠、武田圭佐、田中友香、財津雅昭、今裕史、松原悠、曽我部進、鈴木昭、小池雅彦.
自然消退した上行結腸癌の1例.
日本消化器外科学会雑誌．2019.02; 52(2): 106-111.

河北一誠、武冨紹信.
腫瘍破裂による腹腔内出血でOncological emergencyを呈したが、IVRによる止血後に待機的肝切除術を施行しえた小児肝腫瘍の1例.
日本腹部救急医学会雑誌．2019.02; 39(2): 398.

阪田敏聖、神山俊哉、蒲池浩文、島田慎吾、中智昭、武冨紹信.
異時性4重複癌(直腸・肺・胃・肝)であった肝内胆管癌の1例.
臨床外科．2019.02; 74(2): 257-263.

奥村一慶、矢部沙織、下國達志、西川眞、宮崎美雪、鈴木智子、中川隆公、髙橋昌宏.
Mohs軟膏・内分泌療法・骨転移治療薬で病勢制御を得た高齢者高度進行乳癌の1例.
癌と化学療法．2019.02; 46(2): 336-338.

高橋直規、後藤了一、財津雅昭、川村典生、渡辺正明、神山俊哉、嶋村剛、武冨紹信.
南回りB2/3胆管を伴う肝左葉グラフトを用いた生体肝移植の一例.
移植．2019; 54(6)

河北一誠、今裕史.
前方アプローチと腹腔鏡のHybrid手術でメッシュ留置が可能であった腸管切除を要する鼠径ヘルニア嵌頓の1例.
日本ヘルニア学会誌．2019.03; 5(1): 35-40.

河北一誠、財津雅昭、植田隆、田中友、今裕史.
魚骨による虫垂穿孔に対して腹腔鏡下虫垂切除術を施行した1例.
日本腹部救急医学会雑誌．2019.03; 39(3): 531-534.

小林展大、後藤了一、矢部沙織、加藤拓也、川村典生、腰塚靖之、三野和宏、渡辺正明、植村一仁、高橋宏明、蒲池浩文、神山俊哉、武冨紹信、嶋村剛.
肝移植後膵癌の2例.
移植．2019.03; 53(6): 365-371.

江本慎、千田圭吾、谷道夫、河合朋昭、小林清二、小笠原和宏.
子宮筋腫の鼠経ヘルニア嵌頓が誘因と考えられた鼠径管膿瘍の1例.
日本腹部救急医学会雑誌．2019.05; 39(4): 787-791.

常俊雄介、倉内宣明,、鍵谷卓司、澤野武行、笠島浩行、原豊、遠山茂.
保存的に治癒し得た小児外傷性膵損傷の1例.
日本腹部救急医学会雑誌．2019.05; 39(4): 765-768.

太田拓児、三野和宏、志智俊介、植村一仁.
非閉塞性腸間膜虚血術後早期に再発した1例.
日本腹部救急医学会雑誌．2019.05; 39(4): 781-785.

吉田祐一、植木伸也、正司裕隆、佐藤利行、笠島浩行、中西一彰.
ICG蛍光法を用いて腹腔鏡下肝嚢胞天蓋切除術を施行した症候性巨大肝嚢胞の1例.
日本内視鏡外科学会雑誌．2019.07; 24(4): 298-303.

齋藤智哉、長津明久、横尾英樹、神山俊哉、武冨紹信.
孤立性に右心室転移をきたした肝細胞癌の1例.
日臨外会誌．2019.09; 80(9): 1739-1743.

海老沼翔太、川村秀樹、吉田雅、市川伸樹、本間重紀、清水亜衣、武冨紹信.
Stage IV進行胃癌の異時性孤立性脾転移に対して脾臓摘出術を施行した1例.
日本外科系連合学会誌．2019.10; 44(5): 903-910.

佐藤彩、吉田雅、本間重紀、市川伸樹、川俣太、柴崎晋、武冨紹信、福井秀章、松野吉宏.
濾胞性リンパ腫に併存した早期横行結腸癌の一切除例.
日本外科系連合学会誌．2019.10; 44(5): 960-965.

《論文発表（欧文）》

〈original article〉

Wakizaka K, Yokoo H, Kamiyama T, Ohira M, Kato K, Fujii Y, Sugiyama K, Okada N, Ohata T, Nagatsu A, Shimada S, Orimo T, Kamachi H, Taketomi A.
Clinical and pathological features of combined hepatocellular-cholangiocarcinoma compared with other liver cancers.
J Gastroenterol Hepatol. 2019 Jun; 34(6): 1074-1080.

Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Wakayama K, Nagatsu A, Kakisaka T, Kamachi H, Abo D, Sakuhara Y, Taketomi A.
Hepatic hypertrophy and hemodynamics of portal venous flow after percutaneous transhepatic portal embolization.
BMC Surg. 2019 Feb; 19(1): 23.

Shimamura T, Akamatsu N, Fujiyoshi M, Kawaguchi A, Morita S, Kawasaki S, Uemoto S, Kokudo N, Hasegawa K, Ohdan H, Egawa H, Furukawa H, Todo S, Japanese Liver Transplantation Society.
Expanded Living-Donor Liver Transplantation Criteria for Patients With Hepatocellular Carcinoma Based on the Japanese Nationwide Survey: The 5-5-500 Rule - A Retrospective Study.
Transpl Int. 2019 Apr; 32(4): 356-368.

Shimada S, Kamiyama T, Yokoo H, Orimo T, Nagatsu A, Ohata T, Kamachi H, Taketomi A.
Prognoses and clinicopathological characteristics for hepatocellular carcinoma originating from the caudate lobe after surgery.
World J Surg. 2019 Apr; 43(4): 1085-1093.

Ohira M, Shibuya K, Uemura K, Takahashi H, Ito Y.
Port-to-target distance as a predictive factor for difficult cases in single-incision laparoscopic cholecystectomy: an observational study.
Asian J Endosc Surg. 2019 Jul; 12(3): 255-263.

Ichikawa N, Homma S, Funakoshi T, Hattori M, Sato M, Kamiizumi Y, Omori K, Nomura M, Yokota R, Koike M, Kon H, Takeda K, Ishizu H, Hirose K, Kuraya D, Ishikawa T, Murata R, Iijima H, Kawamata F, Yoshida T, Ohno Y, Minagawa N, Takahashi N, Taketomi A.
Preoperative FOLFOX in resectable locally advanced rectal cancer can be a safe and promising strategy: the R-NAC-01 study.
Surg Today. 2019 Aug; 49(8): 712-720.

Imaizumi K, Tsukada Y, Komai Y, Nomura S, Ikeda K, Nishizawa Y, Sasaki T, Taketomi A, Ito M.
Prediction of urinary retention after surgery for rectal cancer using voiding efficiency in the 24 h following Foloey catheter removal.
Int J Colorecatl Dis. 2019 Aug; 34(8): 1431-1443.

Shibuya K, Kawamura H, Takahashi S, Ohno Y, Ichikawa N, Yoshida T, Homma S, Ishizu H, Takahashi M, Taketomi A.
Short-term and Long-term Outcomes Following Laparoscopic Gastrectomy for Advanced Gastric Cancer Compared With Open Gastrectomy.
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2019 Aug; 29(4): 297-303.

Kawamura H, Shibasaki S, Yoshida T, Shimokuni T, Sakihama H, Homma S, Takahashi M, Taketomi A.
The Feasibility of Laparoscopic Gastrectomy for Remnant Gastric Cancer.
Int Surg . 2019 Sep; 103(9-10): 435-442.

Toyoshima Y, Kitamura H, Xiang H, Ohno Y, Homma S, Kawamura H, Takahashi N, Kamiyama T, Tanino M, Taketomi A.
IL6 modulates the immune status of the tumor microenvironment to facilitate metastatic colonization of colorectal cancer cells.
Cancer Immunol Res. 2019 Dec; 7(12): 1944-1957.

Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Iijima H, Kawamata F, Sibasaki S, Kawamura H,Minagawa N, Kamiizumi Y, Fukasaku Y, Taketomi A.
Proficiency level of novice technically qualified surgeons in laparoscopic rectal resection.
Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2019 Nov 22; DOI: 10.1097/SLE.0000000000000740: [Online ahead of print].

Ichikawa N, Homma S, Yoshida T, Mitsuhashi T, Iijima H, Ogasawara K, Kazui K, Kamiizumi Y, Kawamata F, Taketomi A.
An Increase of peripheral lymphocyte-monocyte ratio after primary site resection is associated with prolonged survival in unresectable colorectal carcinoma.
Surg Today. 2019 Nov 30; DOI: 10.1007/s00595-019-01927-1: [Online ahead of print].

Imaizumi K, Suzuki T, Kojima M, Shimomura M, Sakuyama N, Tsukada Y, Sasaki T, Nishizawa Y, Taketomi A, Ito M, Nakatsura T.
Ki67 expression and localization of T-cells after neoadjuvant therapies as reliable prediction markers in rectal cancer.
Cancer Sci. 2019 Dec 18; DOI: 10.1111/cas.14223: [Online ahead of print].

Ohira M, Yoshizumi T, Yugawa K, Kosai-Fujimoto Y, Inokuchi S, Motomura T, Mano Y, Toshima T, Itoh S, Harada N, Ikegami T, Soejima Y, Taketomi A, Mori M.
Association of inflammatory biomarkers with long-term outcomes after curative surgery for mass-forming intrahepatic cholangiocarcinoma.
Surg Today. 2019 Oct 30; DOI: 10.1007/s00595-019-01905-7: [Online ahead of print].

Wakizaka K, Yokoo, H, Kamiyama T, Kakisaka T, Ohira M, Tani M, Kato K, Fujii Y, Sugiyama K, Nagatsu A, Shimada S, Orimo T, Kamachi H, Matsuoka R, Taketomi A.
CD133 and epithelial cell adhesion molecule expressions in cholangiocarcinoma component are prognostic factors for combined hepatocellular-cholangiocarcinoma.

Hepatol Res. 2019 Oct 29; DOI: 10.1111/hepr.13443: [Online ahead of print].

Shimada S, Fukai M, Shibata K, Sakamoto S, Wakayama K, Ishikawa T, Kawamura N, Fujiyoshi M, Shimamura T, Taketomi A.
Heavy Water (D_2O) Containing Preservation Solution Reduces Hepatic Cold Preservation and Reperfusion Injury in an Isolated Perfused Rat Liver (IPRL) Model.
J Clin Med. 2019 Nov; 8(11): 1818.

Sakamoto Y, Yoshio S, Doi H, Kawai H, Shimagaki T, Mori T, Matsuda M, Aoki Y, Osawa Y, Yoshida Y, Arai T, Itokawa N, Ito T, Seko Y, Yamaguchi K, Itoh Y, Mise Y, Saiura A, Taketomi A, Kanto T.
Serum soluble Siglec-7 concentration as an indicator of liver macrophage activation and advanced fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease.
Hepatol Res. 2019 Dec 5; DOI: 10.1111/hepr.13464: [Online ahead of print].

Kimura S, Rickert CG, Kojima L, Aburawi M, Tanimine N, Fontan F, Deng K, Tector H, Mi Lee K, Yeh H, Markmann JF.
Regulatory B cells require antigen recognition for effective allograft tolerance induction.
Am J Transplant. 2019 Dec 11; DOI: 10.1111/ajt.15739: [Online ahead of print].

〈Review〉
Kamiyama T.
Recent advances in surgical strategies for alveolar echinococcosis of the liver.
Surg Today. 2019 Nov 25; DOI: 10.1007/s00595-019-01922-6: [Online ahead of print].

〈Case report〉
Nakamoto H, Nishikawa M, Ishikawa T, Yokoyama R, Taketomi A.
Simultaneous Laparoscopic Cholecystectomy and Combined Endoscopic and Laparoscopic Surgery for an Endoluminal Tumor of the Sigmoid Colon: A Case Report.
Am J Case Rep. 2019 Jan; 20: 1-4.

Ishikawa T, Homma S, Nishikawa M, Nakamoto H, Yokoyama R, Taketomi A.
Laparoscopic abdominoperineal resection with lateral lymph node dissection for advanced rectal and prostate cancer with synchronous lateral lymph node metastases.
Asian J Endosc Surg. 2019 Jan; 12(1): 118-121.

Fujii Y, Tsuruga Y, Sakamoto S, Shomura H, Kazui K.
Primary Mixed Neuroendocrine Nonneuroendocrine Neoplasm of the Gallbladder Associated with Pancreaticobiliary Maljunction without Bile Duct Dilation.
Am Surg. 2019 Feb; 85(2): e74-e76.

Murata R, Yoshida T, Kobayashi N, Watanabe Y, Homma S, Echizenya H, Taketomi A.
Two-Stage Surgery for Intraperitoneal and Retroperitoneal Multicentric Liposarcoma Causing Hydronephrosis: A Case Report.
Surg Case Rep. 2019 Feb; 5(1): 18.

Ishikawa T, Nishikawa M, Nakamoto H, Yokoyama R, Taketomi A.
Case of Chronic Pain After Laparoscopic Percutaneous Extraperitoneal Closure in an Adolescent Girl With Inguinal Hernia in Which Open Repair Was Effective.
Asian J Endosc Surg. 2019 Apr; 12(2): 211-213.

研究費一覧

種別	事業名	研究代表者	研究分担者	交付額（分担金配分額）	研究課題名
科研費	基盤研究（B）	武冨　紹信		4,800,000	DGKα/ζを標的とした消化器がんに対する次世代免疫療法の開発研究
	挑戦的研究（萌芽）	武冨　紹信		1,900,000	化学療法抵抗性獲得機序におけるDGKα高発現の意義の解明とその制御法の開発研究
	基盤研究（S）	（前原　喜彦）	武冨　紹信	（100,000）	がん幹細胞化に関与するSphere形成メカニズムを標的とした革新的治療開発
	基盤研究（C）	神山　俊哉		延長	肝癌細胞株における糖鎖異常と浸潤能との関連性の解析
	基盤研究（B）	嶋村　剛		2,100,000	脂肪肝グラフトのミトコンドリア機能と抗酸化能を増強する画期的な肝体外灌流法の開発
	基盤研究（C）	早坂　孝宏		1,000,000	イメージング質量分析を用いた癌微小環境一細胞脂質プロファイルの解明
	基盤研究（C）	若山　顕治		1,700,000	脂肪肝グラフトの脂肪滴を有効利用する画期的な保護性タンパク質機能の賦活法の探索
	基盤研究（C）	本間　重紀		1,200,000	全ゲノム解析とCRISPR/Cas9を応用した大腸癌肝転移に対する新規治療戦略
	基盤研究（C）	渡辺　正明		500,000	膵島移植における長期グラフト生着のための治療法の開発
	基盤研究（C）	折茂　達也		700,000	APC結合タンパクEB1による膵癌の放射線抵抗性の画期的診断とその分子機構の解明
	基盤研究（C）	深井　原		600,000	14-3-3とNrf2の制御による革新的な心停止腎グラフトの灌流修復法の開発
	基盤研究（B）	（三高　俊広）	深井　原	（100,000）	新生肝細胞創出による機能不全に陥った肝臓を蘇らせるための基礎的研究
	基盤研究（C）	後藤　了一		1,300,000	ヒト化マウスによる難治性胆汁うっ滞性疾患と移植後HLA抗体の病態解明と治療法開発
	基盤研究（C）	本多　昌平		1,200,000	肝細胞癌との共通メカニズムに基づく肝芽腫の新規分子診断・治療開発
	基盤研究（A）	（檜山　英三）	本多　昌平	（250,000）	小児がん研究グループによる小児肝がんの海外診療状況調査と国際共同臨床研究基盤整備
	基盤研究（C）	（宮城　久之）	本多　昌平	（50,000）	組織立体再構築を用いた直腸肛門奇形発生のエピゲノム解析
	挑戦的研究（萌芽）	植木　伸也		2,000,000	免疫記憶の制御をターゲットとした、免疫抑制に対する新規アプローチ法の開発研究
	若手研究	川村　典生		1,300,000	過小肝グラフトの肝再生を賦活する体外灌流治療の開発とメカニズム探索
	若手研究	島田　慎吾		1,200,000	腸内細菌叢を標的とした新たな肝細胞癌術後再発制御法の開発
	若手研究（B）	島田　慎吾		延長	脂肪切除後の分子病態解明と抗酸化能増強による易障害性、易転移性克服法の開発
	若手研究	財津　雅昭		1,300,000	移植後早期グラフト浸潤リンパ球の抗原特異性の有無に関する基礎的検討
	若手研究	市川　伸樹		1,100,000	転移性大腸癌における原発巣切除による免疫状態変化と予後に関する検討
	若手研究	吉田　雅		1,000,000	炎症性腸疾患活動性関連因子に関する基礎的研究
	若手研究	荒　桃子		1,300,000	CDDP耐性肝芽腫におけるメチル化異常の解明と新規治療法の探求
	基盤研究（C）	（宮城　久之）	荒　桃子	（50,000）	組織立体再構築を用いた直腸肛門奇形発生のエピゲノム解析
	若手研究（B）	大野　陽介		900,000	大腸がん微少環境下における抗原提示細胞の機能制御を基軸とした新規治療法の開発
	研究活動スタート支援	藤好　真人		1,100,000	肝移植と機械灌流法を応用した革新的な転移性肝癌に対する体外治療法の開発
AMED・厚労科研	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業ii	（溝上 雅史）	武冨　紹信	（7,280,000）	個別化医療に対応したゲノム編集技術による肝臓内HBVゲノムの完全不活化を目指した革新的治療法の包括的開発
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	（考藤　達哉）	武冨　紹信	（3,640,000）	NASH肝がんのリピド・ゲノミクス研究に基づく個別化医療の開発
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	（坂本　直哉）	武冨　紹信	（1,600,000）	慢性肝疾患の組織病態進展機構の解析および血清組織糖鎖の網羅的探索による予後予測マーカーの構築
	日本医療研究開発機構 感染症実用化研究事業 肝炎等克服実用化研究事業 i	（前原　喜彦）	武冨　紹信	（300,000）	多施設共同研究による移植後肝炎ウイルス再発に対する標準的治療の確立
	厚生労働行政推進調査事業費補助金 エイズ対策政策研究事業	（江口　晋）	嶋村　剛	（200,000）	血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究
その他	公益信託　楡刀会外科医学研究助成基金	島田　慎吾		500,000	脂肪肝を背景とした肝癌に対する腸内細菌叢をターゲットとした新規治療法の開発
	公益信託　楡刀会外科医学研究助成基金	本多　昌平		500,000	Transitional liver cell tumorsの分子基盤解明：ターゲットシークエンス解析によるWnt・Mycパスウェイ変異解析

2019年業績紹介

〈学位取得者〉

学位取得者（博士）

水上　達三

■学位取得年月
2019年3月

■学位論文名
抗mesothelin抗体Amatuximabはmesothelin高発現膵癌細胞株によるマウス腹膜播種モデルにおいて gemcitabine の抗腫瘍効果を増強する (The anti-mesothelin monoclonal antibody amatuximab enhances the anti-tumor effect of gemcitabine against mesothelin-high expressing pancreatic cancer cells in a peritoneal metastasis mouse model)

■基礎論文
The anti-mesothelin monoclonal antibody amatuximab enhances the anti-tumor effect of gemcitabine against mesothelin-high expressing pancreatic cancer cells in a peritoneal metastasis mouse model.
Mizukami T, Kamachi H, Fujii Y, Matsuzawa F, Einama T, Kawamata F, Kobayashi N, Hatanaka Y, Taketomi A. Oncotarget. 2018 Sep 18;9(73):33844-33852.

■要　旨
膵癌は治癒切除症例においても予後不良の癌であり、手術予後の改善のためには、診断時に検出できない、あるいは術中・術後に残存する微小な癌細胞の制御が必須である。
本研究では、膵癌術後補助療法を想定した mesothelin（以下 MSLN）高発現膵癌腹膜播種マウスモデルを用いて、抗 MSLN 抗体 Amatuximab（以下 AMT）投与により gemcitabine（以下 GEM）の抗腫瘍効果が増強することを示した。
まず、MSLN発現の高い膵癌細胞株AsPc-1に分泌型ルシフェラーゼであるGluc遺伝子を導入し、分泌される Gluc の発光活性により腫瘍量の客観的評価可能な膵癌腹膜播種マウスモデルを作製した。このモデルへの AMT 腹腔内投与実験では、血漿 Gluc 活性には有意差は見られないが、投与群においてのみ明らかな腹膜播種結節の減少とシャーベット状の癌細胞集塊(sherbet-like aggregates、以下 SLA)が認められた（Fig.1）。次に AMT および GEM の相乗効果の検討では、GEM 単独腹腔内投与群と比較し、GEM ＋ AMT 群では血漿 Gluc 活性が有意に低く、肉眼的にも明らかな腹膜播種結節の減少を認め、SLA がほぼ消滅した（Fig.2）。この抗腫瘍効果の増強は、AMT の MSLN-CA125 結合阻害作用により腫瘍塊形成が抑制されて SLA が形成され、その結果 GEM の腫瘍細胞へのアクセスが良好になったためと推論し、AMT を用いた術後補助療法は、MSLN高発現の膵癌による腹膜播種を防止するための有用な戦略であり得ることが期待される。

Fig.1

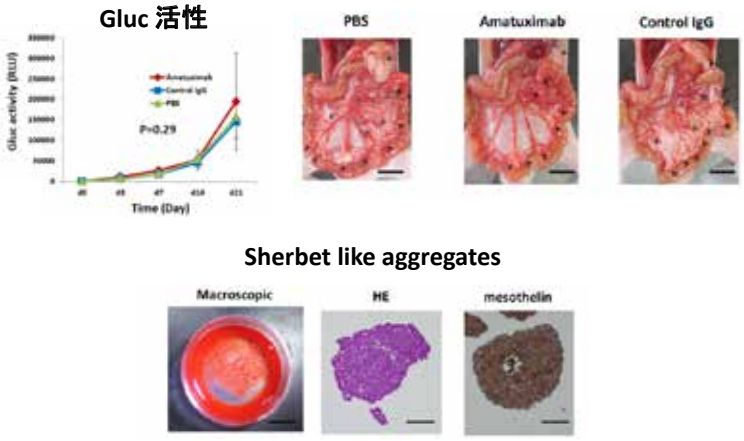
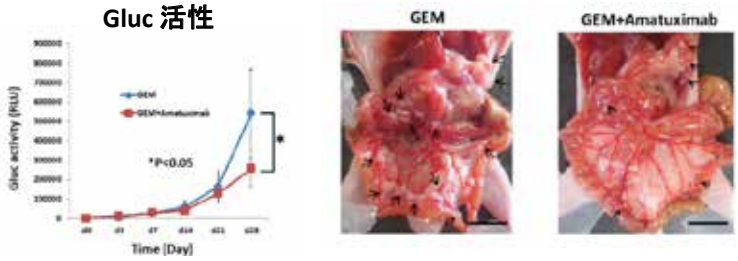


Fig.2



学位取得者（博士）

松澤　文彦

■学位取得年月
2019年3月

■学位論文名
ヒト膵癌細胞株に対する抗mesothelin抗体(Amatuximab)の治療効果に関する研究

■基礎論文
Mesothelin blockage by anti-mesothelin antibody (MORAb-009) suppresses cell invasiveness, enhances gemcitabine sensitivity, and regulates cancer cell stemness in mesothelin-positive pancreas cancer cells（投稿中）

■要　旨
【背景と目的】
　これまで当科では、抗mesothelin抗体(Amatuximab)を投与された膵癌腹膜播種マウスにおいて腹膜播種の減少と腹水中に浮遊するシャーベット状の癌細胞集塊(以下sherbet-like aggregates)が生じることを明らかにした．本研究の目的はsherbet-like aggregatesでの分子発現変化，Amatuximabのin vitroでの効果を検討し，抗腫瘍効果の分子機構を明らかにすることである．
【材料と方法】
1）膵癌腹膜播種モデルマウスから播種巣およびsherbet-like aggregatesを採取し各々での分子発現を比較検討した．
2）mesothelin高発現膵癌細胞株，低発現株を用い，in vitroにおいてAmatuximabが細胞挙動及び分子発現に与える影響を検討した．
【結果】
1）sherbet-like aggregatesで　はE-cadherin，Ki-67，p-ERK1/2，ALDH1，CD44，c-METの発現が低下していた（図1）．腹膜に接するように存在する膵癌細胞集塊があり，sherbet-like aggregatesよりも腹膜播種巣に近似した分子発現を示していた．
2）mesothelin高発現株ではAmatuximab群で浸潤能，遊走能，gemcitabine耐性が抑制され（図2），MEK1/2、ERK1/2，p-NFκB，NFκB，p-Stat3，Stat3，p-MET，CD44の発現が低下した（図3）．
【結語】
　Amatuximabによるmesothelin阻害が細胞生存や増殖に関連する因子及び癌幹細胞に影響を与えることによりmesothelin高発現膵癌細胞株に対し抗腫瘍効果を発揮することが明らかとなった．

図１　腹膜播種巣及び sherbet-like aggregates での分子発現の検討

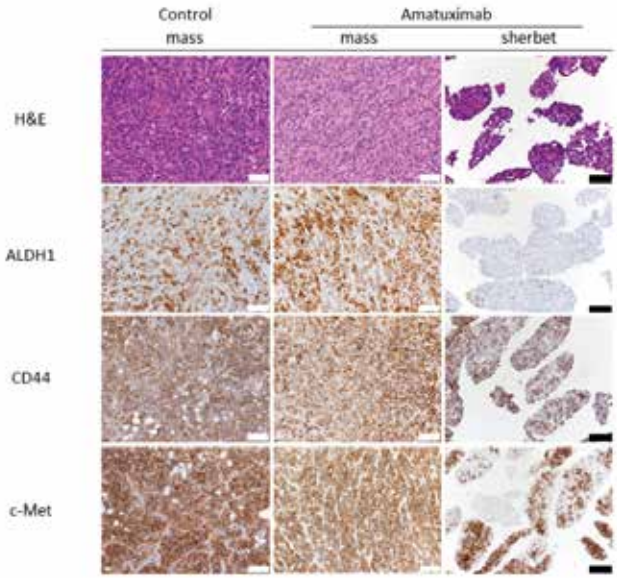


図２　Amatuximab の遊走能への影響

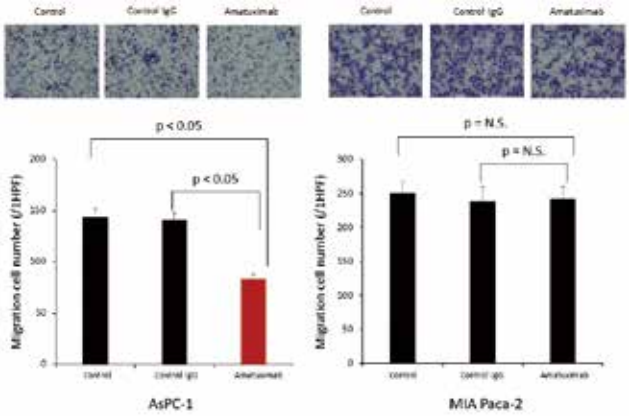
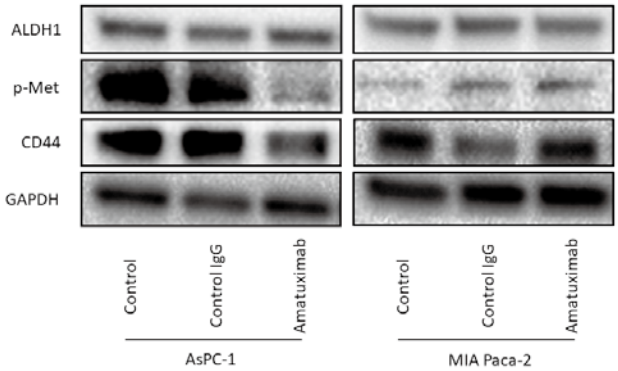



図３　Amatuximab による CSC 関連の分子発現の検討